

2017年3月30日

市議会議長  
兼重 元 様

刷新クラブ 視察研修報告

1. 日程            2017年3月28日(火)～3月29日(木)
  
2. 視察先        ・福岡県            嘉麻市  
                  ・福岡県            豊前市
  
3. 参加者        小林雄二、田中和末、得重謙二、田村隆嘉        計 4名  
                  ※田中和末議員は3月29日公務のため、同日の豊前市は欠席
  
4. 調査事項     ・嘉麻市            : タブレット端末を用いた議会運営について  
                  ・豊前市            : うみてらす豊前の運営について

## 周南市議会刷新クラブ 行政視察 所感報告

周南市議会議員 小林 雄二

### 視察日程

2017年3月27日～3月29日

### 視察日及び場所、目的

3月28日 福岡県嘉麻市 タブレット端末を用いた議会運営について  
大分県中津市 道の駅 やまくに (視察のみ)

3月29日 福岡県豊前市 豊前市海業支援施設(うみてらす豊前)の運営について

### 所感(3月28日)

#### 福岡県嘉麻市 タブレット端末を用いた議会運営について

嘉麻市は平成18年、1市3町で合併。平成25年10月29日神奈川県逗子市に議会運営委員会によるペーパーレス化を目的とした行政改革の一環として視察を行った。

平成25年12月、議会運営委員会で各常任委員会での協議を集約し、ペーパーレス化を決定している。

平成26年4月に誕生した新市長は、平成25年10月29日神奈川県逗子市に議会運営委員会視察のメンバーでもあった。この事によるのかもしれないが、割と順調にタブレット端末の導入が進んだようである。

タブレット端末は議員22台、市幹部職40台、議会事務局6台、総務課2台、の導入で通信費を含め全額公費負担としている。平成27年度の歳出合計は¥4,556,208であり、ペーパーレス化など目に見える削減効果は¥2,441,650との事であった。

他の効果として、資料作成における職員の作業時間の大幅な削減や、情報の速やかな提供、資料の受け取りの簡素化、資料携行の容易さ、資料探索の簡易さ、資料保管場所の削減、などが挙げられている。

タブレット端末の貸与・通信費の公費負担とする運用は、本会議場や委員会室での使用を大前提としており、「市議会に関する会議に、当該会議以外の目的で使用してはならない」との使用制限が明確にされる根拠ともなっている。

活用範囲として、①会議に関する各種資料の取得②議員と議会事務局間での情報及び各種連絡文書等の送受信③検索サイトからの情報閲覧④会議録の閲覧を明確にすることによる、ペーパーレス化に向けた取り組みが具体的なり費用対効果もはっきり表れてくると感じた。

また、どうしてもペーパー化して読みたいのならば、その人が、端末をパソコンに連結しプリントアウトも可能であり、タブレット端末を導入した議会運営に踏み込んでいく時期ではないかと感じた。

## 大分県中津市 道の駅 やまくに (視察のみ)

平成5年に道の駅登録案内制度が始まって今年で24年目となり、発足当初の103駅から、今では全国1,107か所にまで増えている。

国道212号に沿った、「道の駅やまくに」もその一つであり、「清流・緑・ほたる」をテーマに6月にはほたる祭りを実施しているそうである。

鶏や黒豚の加工品も有名で、こじんまりとしているがゆったりとした感じの道の駅であった。

## 所感 (3月29日)

## 福岡県豊前市 豊前市海業支援施設 (うみてらす豊前) の運営

平成21年4月、漁協直営の「漁師食堂うのしま豊築丸」がオープンし年々売り上げを伸ばしていたが、漁業を取り巻く環境は厳しく、「漁家所得の向上と雇用の創出」「地魚のPRと魚食の普及」「観光客の誘致や交流の促進」による地域漁業及び漁港の活性化を図ることを目的として漁協敷地内に水産振興施設を整備した。

新施設の愛称は公募によって「うみてらす豊前」に決まり、平成28年6月7日にオープンした。1階に豊築漁協直売所「四季旬海」と「水産加工所」、2階に「漁師食堂うのしま豊築丸」が移転リニューアルし営業を行っている。

「うみてらす豊前」は豊築漁協が指定管理者となり管理運営を行っており、独立採算で管理運営がされている。

建物は豊前市所有で、土地は漁協の所有であり、総事業費325,198千円のうち水産庁交付金(平成26年度産地水産業強化支援事業)が113,970千円、内閣

府交付金（平成27年度地方創生先行型上乗せ事業）が19,230千円である。

1Fはエントランスホール（45㎡）、直販所（146㎡）、加工所（66㎡）、男子トイレ（小2・個室2）女子トイレ（個室4）多目的トイレ（個室1）

2Fは水産物提供室「漁師食堂うのしま豊築丸」（146㎡）、厨房（31㎡）、男子トイレ（小1・個室1）女子トイレ（個室1）である。その他、現在カキ焼き小屋として使用しているハウス（約400㎡）がある。

オープンから6か月で1F豊築漁協直売所「四季旬海」約54,000人、2F「漁師食堂うのしま豊築丸」約34,000人と順調であり、リピーター確保に向けた豊前以外の同様施設との提携・相互販売、漁師同士の交流促進を図っているとの事であった。

特筆すべきは地域おこし協力隊2名がPRや漁業振興に貢献しており、豊前市全体では7名の地域おこし協力隊が活躍し、うち1名はカキ漁師として家族とともに移住してきているそうである。

場所的には、隣に福岡県海洋技術センターが存在し、指導や相談体制が整っているという好条件もあるが、豊築漁協の組合員数は197名、平均年齢は65.39歳であり、こういった事業を積極的に取り組んでいく姿勢に好印象を持つと同時に豊前市担当者の積極性といったものも感じた。

# 視察報告

刷新クラブ 田中和末

(3月29日は、終日監査会議のため、28日のみの参加)

嘉麻市 「議会ペーパーレス化事業について」

## 所感

嘉麻市のペーパーレス化（タブレット端末）導入事業は、議員の利便性の向上（議案、会議等の招集通知、資料の保管、資料の検索等）、さらには、執行部・議会事務局の経費や負担軽減、効率的な業務の遂行を目的に平成27年5月より本格的に導入・稼働されてきた。視察研修も始めからタブレットを活用しての説明であり、取り扱いや疑問点も操作をしながらその場で対応してもらったため、非常にわかりやすく、また、経費の削減や事務負担の軽減を始め、その優位性を学ぶことができた。嘉麻市にタブレット端末が導入されて1年10ヶ月になるが、今ではほとんどの議員が使いこなしているということであった。本市においても新庁舎建設に合わせて導入すべきだと強く感じた。

## 行政視察報告書

1. 会派名 刷新クラブ（小林・田村・田中・得重）
2. 視察日時 平成 29 年 3 月 28 日 9:30～11:00
3. 視察場所 福岡県嘉麻市
4. 視察項目 タブレット端末を用いた議会運営について
5. 報告者 得重 謙二

### 6. 概要

嘉麻市では、議会ペーパーレス化事業の取り組みとして平成 25 年 11 月から議会内で協議を開始し、平成 26 年 3 月には「ペーパーレス化専門部会」を設置し、削減効果・費用面について、また契約方法や導入スケジュールについて本格的に協議に入った。同年 6 月には補正予算を計上し、8 月にはプロポーザル方式で業者を決定し契約を結んでいる。平成 26 年の 9 月議会からタブレットを導入し、平成 26 度中は、タブレットとペーパーの併用期間とし、平成 27 年度からは、完全ペーパーレス化を実施している。導入されてからの期間は長くはないが、用紙代やコピー費用、事務局員の労務費削減等、着実に成果が出ているとの事であった。

### 7. 所感

概要でも記したが、構想から実施までの期間を短期間にまとめ、専門部会を中心にスピード感をもって推進されている。事務局の方の説明では、タブレット本体及び使用料は全て一般会計から出されているが、今までの用紙代などから比較すると費用対効果は十分出ているとの事であった。取り扱いに至っては、研修を重ねることで問題点や課題を克服し、議会・事務局・執行部も合わせて前向きに取り組んでおられ、相乗効果に結びついていると感じた。周南市議会でも、スケジュール感をもって課題解決に取り組んでいきたい。

## 行政視察報告書

1. 会派名 刷新クラブ（小林・田村・得重）
2. 視察日時 平成 29 年 3 月 29 日 9:30~11:00
3. 視察場所 福岡県豊前市
4. 視察項目 うみてらす豊前の概要・運営について
5. 報告者 得重 謙二

### 6. 概要

うみてらす豊前は、雇用の創出、漁家所得の向上、更に地域の水産振興を目的に、市と漁協が協力し、平成 28 年に 6 月にオープンしている。事業費は約 3 億 2 千万円であるが、交付金で 1 億 4 千万円を賄っていた。1 階には、漁師による直販と加工所をもち、水揚げした魚介類は水槽に入れ、新鮮な状態のまま販売している。2 階には、漁協直営の食堂、屋外にはカキの炭焼き小屋等を経営されており、経営状態は順調に推移しているとの事であった。

### 7. 所感

地元の漁協と協力し運営されているが、漁協に対する指定管理料は一切支払っておらず、売り上げのみで運営されている。市出身の著名人を活用し、施設のプロモーションビデオを作製、メディアから発信し、市内外に向け、強力に発信されていた。その甲斐もあってか、昼食時は多くの来店者がおられ、屋内・外共に賑わっていた。いずれにしても運営する側が、行政任せではなく、積極かつ自主的に取り組むことが運営成功に繋がると感じた。

嘉麻市：タブレット端末を用いた議会運営について

《対応》

嘉麻市 議会事務局 局長 原田 宣浩 氏  
局長補佐 高野 浩典 氏

《説明内容》

タブレット端末のデモ操作

議会ペーパーレス化事業について

- ・導入の経過、目的、活用範囲
- ・アプリケーションソフト、タブレット選定、通信契約、キャリア選定
- ・プロポーザル提案内容
- ・予算と支出見込み、削減効果
- ・研修内容、導入後の作業、課題

《質問》

- ・導入経費、運営経費は？
- ・議会中、委員会審議中のインターネットアクセス可否は？
- ・多量ページ資料の紙配布は？
- ・議員・事務局・執行部のコミュニケーションツールは？

《所感》 田村隆嘉

- ・冒頭にタブレット端末のデモンストレーション、操作体験によって、運用方法及び仕組みについてある程度理解した上での、説明、質疑で大変わかりやすかった。
- ・議会から配布されるタブレット端末に加えて、個人所有の機器でも無料アプリで使用でき、利便性に配慮されている。
- ・システムで管理される文書は公開される文書であるので、他システムとの連携がないことを前提に、厳しいセキュリティー対策は取られていない。
- ・資料配信のお知らせ、受取り確認については運用上大きな問題はないと感じた。
- ・導入効果の検証をされていたが、紙ベースの削減費用が主で人件費部分の削減効果額が算出されていなかった。
- ・利用者の操作スキル向上によって有効活用出来ると思う。
- ・事務局による管理業務については、専門知識を習得する研修が必要である。

以上



豊前市：うみてらす豊前の運営について

《対応》

豊前市 農林水産課 課長 生田 秋敏 氏  
ほか1名

《説明内容》

豊築漁業協同組合の概要  
漁業を取り巻く現状  
うみてらす豊前の施設概要  
うみてらす豊前の運営状況

《質問》

- ・施設整備の目的と経緯は？
- ・運営方法は、事業の効果は？
- ・整備事業費と今後の展開は？
- ・事業効果は、道の駅、既存関連施設との連携は？

《所感》 田村隆嘉

- ・水産振興を目的とした施設で、漁協との強い協力関係により、施設整備、運営がされている。
- ・隣接する福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所の協力、連携を持ちながら、地域おこし協力隊2名を加えて、漁協が主体的に運営されており、指定管理料はゼロである。
- ・漁業者が施設内で自ら水揚げした魚を加工、販売し直接収入になっている。
- ・施設内レストランや加工場の従業者は46名で新規雇用につながっている。
- ・今後の展開（施設の増設、提供品の開発等）についても意欲的で、将来が楽しみな施設である。
- ・昨年6月にオープンして間もないが、マスコミを利用したPRが有効に働いていると感じた。
- ・昨年春の東九州自動車道の全線開通により、自動車通行量が減少していると推測されるにも関わらず、道の駅の来客数も大きく減少しておらず、相乗効果であると思われる。
- ・今後の漁業就業者増につなげる取り組みが期待される。

以上